

平成 29 年 9 月 26 日
松山河川国道事務所

重信川・石手川出水状況（第 2 報）

～ 重信川で 17 箇所の被災を確認 ～

平成 29 年 9 月 17 日台風 18 号の豪雨による重信川水系に関する被災状況についてお知らせします。
この情報は速報であり、数値等は今後変わることがあります。



応急復旧状況（月輪工法作業状況）



左岸3k600+160付近の陥没及び漏水

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所工務第一課

◎ 副所長（河川）：松下 越夫（内線：204）

工務第一課長：岩本 康宏（内線：311）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0206

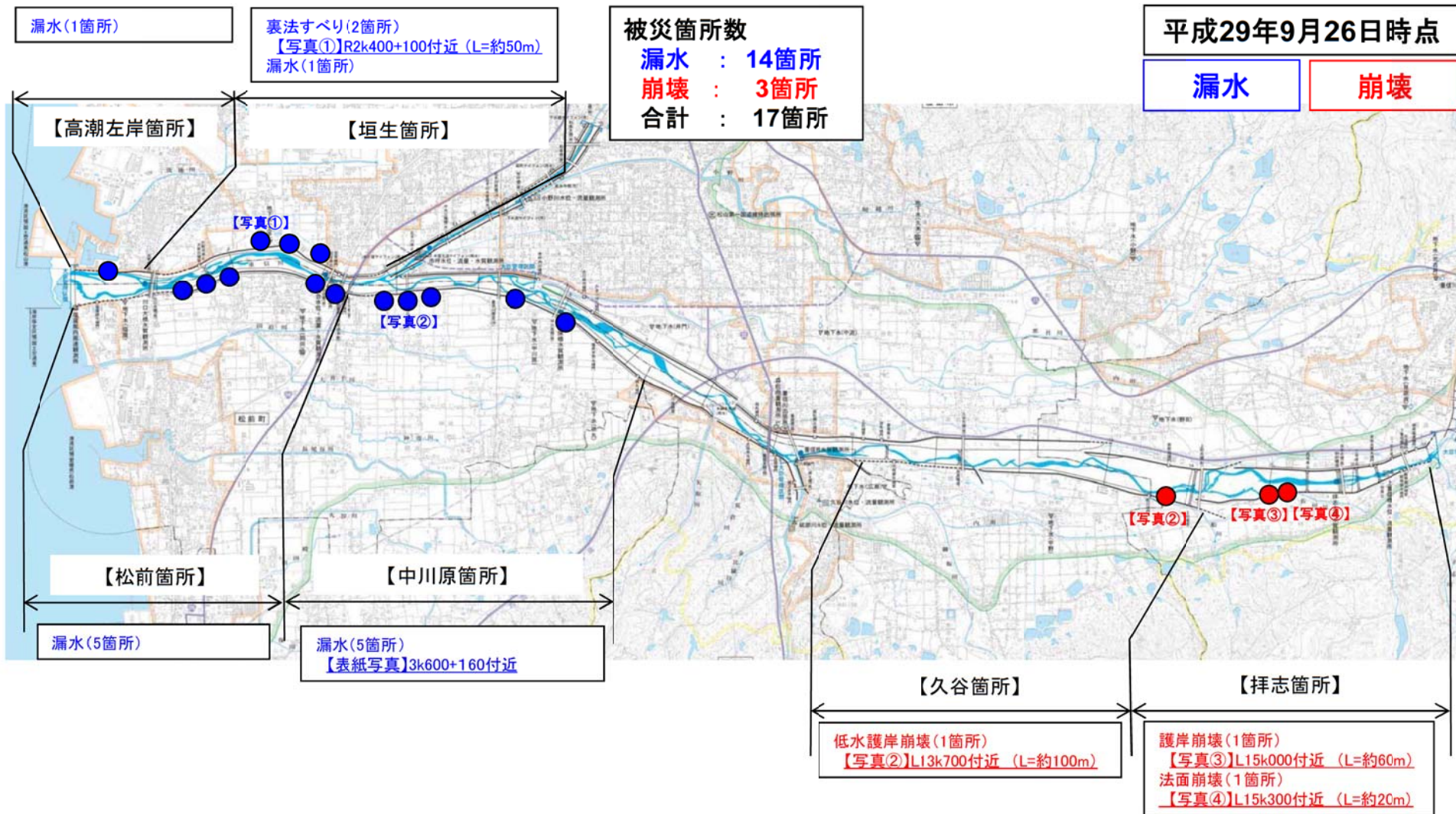
FAX 089-972-8105

◎：主な問い合わせ先

台風18号による重信川の河川管理施設の被災状況

◇重信川では、四国沖より来襲した台風18号の降雨により、河川水位が上がったため、河川管理施設の被災が17箇所確認されました。

◇現在、被災箇所において、応急対策(雨水防止のシート張りや立入り禁止柵含む)に着手しています。また、本復旧に向けて、被災箇所における発生要因の把握を行い、堤防強化等の対策を実施していく予定です。



被災状況写真

【写真①】R2k400+100付近
裏法すべり(L=約50m)



【写真②】L13k600付近
低水護岸崩壊(L=約100m)



【写真③】L15k000付近
護岸崩壊 (L=約60m)



【写真④】L15k300付近
法面崩壊 (L=約20m)



応急復旧状況写真

【写真①:シート張り】R2k400+100付近
すべり箇所への充填



【写真②:進入路整備】L13k600付近
崩壊箇所への充填及び根固め敷設



【写真③:シート張り】L15k000付近
崩壊箇所への充填及び根固め敷設



【写真④:進入路整備】L15k300付近
崩壊箇所への充填及び根固め敷設



《参考》漏水(ろうすい)とは

※漏水(ろうすい)とは

堤防内部に浸透した水が居住地側の地盤から湧き出す現象を漏水といい、湧水量が多くなると居住地側から堤防を崩すことがあり、堤防の被災の一つとなります。

漏水のイメージ図

